



# ほとほら通信

令和5年1月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL/fax 024-575-4355

## 1月の主な行事

- 1月 4日(水) 仕事始め
- 6日(金) 工賃支給日
- 7日(土) 土曜利用日 新年と新二十歳利用者を祝う会

## 1月誕生月 おめでとうございます

佐藤修二さん

誕生月おめでとうございます。誕生会は昨年12月23日に行いました。

# 謹賀新年



## 本年もどうぞよろしくお祈いします

令和5年 元旦



## ほとほら授産所 利用者・職員一同



## 2023年新年のごあいさつ



### 利用者さんのための 施設を目指して



社会福祉法人あぶくま福祉会  
理事長 吉田 修次郎

ほどはら授産所利用の皆さん、保護者の皆さん、あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお喜びいたします。

今年の癸卯（みずのと・う）には「これまでの努力が花開き実り始める年」の意味が込められておるようです。素晴らしい一年間となりますようお祈り申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が拡大してから間もなく4年目になろうとしていますが、一向に収まる気配が無く、現在第8波が流行中であります。ワクチン接種も昨年だけで3回行っていますが、感染症の不安は解消されていません。

これまで皆さんの努力のお陰で感染者ゼロを続けてきましたが、昨年10月から11月にかけて感染急拡大し、だての郷で2週間、ほどはら授産所で1週間施設の休業をせざるを得なかったことは誠に残念で申し訳ない事と思っています。今後は、政治や行政からは経済活性化の観点から行動制限措置は敷かれないものと思いますので、これからはなお一層「自分の身体は自分で守る」の意識をもって施設運営にあたる必要があると考えております。

さて、コロナ禍の中で令和4年の施設運営は、あぶくま祭や旅行をはじめ各種事業が中止や形を変えての実施となりました。今後も新しい生活様式の中での施設活動となりますが、その中でも少しずつ、少人数の交流活動など事業の創意工夫により活動の幅を広げてまいりたいと思います。

利用者の送迎については、だての郷ではバス送迎を解消しワゴン車による個別送迎に切り替えることが出来ました。一部ほどはら授産所の利用者はバス送迎の方はおりますが、今後も要望等を取り入れ少しずつ改善してまいりたいと思います。

施設整備面では、社会福祉充実計画による整備は完了しました。また、施設の単独事業の車庫・倉庫の移転新築工事も完成したことから、ほどはら授産所の花卉園芸は格段と効率良い環境で作業が出来るものと思います。

更に、両施設の空調入れ替え工事も本格的な寒さが到来する前に完了することが出来ました。施設経営では今般の物価高騰もあり厳しい状況が続くと思いますが節減に努め何とか乗り切りたいと考えております。

また、昨年だての郷保護者会から寄せられた要望については出来ることから実施に移していきたいと思います。

施設は常に「利用者のための施設である。」ことを念頭におき、施設での生活が楽しく充実したものとなるよう、生活や作業しやすい環境作りにこれからも職員とともに努力してまいりたいと思っています。

結びに、皆様の健康とご多幸を祈念し年頭のご挨拶といたします。

保護者会長  
年頭ごあいさつ

## 新年のごあいさつ

～幸せ多き一年になりますように～



ほどはら授産所保護者会  
会長 池田 光雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望と夢にあふれた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃、当施設の運営につきましては、特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は卯年です。卯には「健康・子孫繁栄」などという意味があるそうです。中国の伝説に疫病から多くの人々の命を守ったと言われております。

昨年も新型コロナに始まり新型コロナで終わった一年だったと思います。一日でも早く収束し、私たちの普段の日常生活が送れるよう願うばかりです。

所長さんはじめ職員の皆様の日々のご指導に対し、厚く御礼と感謝申し上げますとともに、今後とも少しでも明るい職場で協力し合って、生産能力を高められますよう願うばかりです。

ほどはら授産所保護者会の活動は、昨年も新型コロナ感染の心配があり対面方式の総会を開催することができず、申し訳なく思っています。その中であって、春の玉ねぎの収穫作業や秋の施設周辺の清掃奉仕作業、そして今年の春の収穫を目指して清掃奉仕に合わせて玉ねぎ植え作業を保護者会の活動として行うことができました。保護者会会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。今年是对面の総会や、あぶくま祭などイベントができるようになると思っていますが、コロナ感染の収束次第であり、慎重にならざるを得ないところがあります。また保護者会の令和4年度の予算で、利用者さんの作業服を購入することになっていて、本年2月ころにはお渡しできることになっておりますので、もう少しお待ちください。昨年新型コロナのため施設が臨時休業となった時期がありましたが、今年はそうならないようみんなで感染対策を行い、コロナを克服していきたいと思っています。

結びになりますが、当施設並びにほどはら授産所保護者会のますますの発展と、皆様にとりまして幸せ多き一年になりますようご祈念申し上げ、保護者を代表しての新年のごあいさつとさせていただきます。



所長  
年頭ごあいさつ

## 新年のごあいさつ

～うさぎが飛ぶように  
飛躍・向上の1年に～



ほどはら授産所  
所長 中木 雅彦

新年あけましておめでとうございます。ほどはら授産所利用者の皆様をはじめ、同保護者会、地域の皆様にとって、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ると、社会全体では新規陽性感染者数が増減を繰り返し、年末には第8波が来て、新型コロナウイルス感染症との戦いは続き、このコロナ禍に対応した生活・行動様式が普通になりました。ほどはら授産所の行事は、昨年に引き続き外出行事は中止にせざるを得ませんでした。その中で11月初めの遠足の代替行事「アコーディオンと歌声喫茶」は楽しい思い出になりました。コロナ禍にあって感染拡大の波が当施設へも押し寄せて、11月中旬の1週間、臨時休業を取る事態になったことについて、多くの皆様にご心配をおかけし申し訳なく思っております。休業明けには無事施設が再開、通常運営に戻り現在に至っています。明るい話題としては、社会福祉充実計画によりすすめていた農耕園芸班の大型ハウスが完成、ハウスの中で花苗栽培がスタートしました。11月には車庫・倉庫も完成。農耕園芸班生産活動充実元年となりました。個別送迎も2年目に入り、一部ルートの拡大により、1日あたりの送迎利用者さんの人数を増やすことができました。

今年の干支は「癸卯」(みずのと・う)で、うさぎの年です。うさぎ年にちなんでほどはら授産所の今年の目標を述べると、うさぎは野山を飛び跳ねる姿からこの年は、大きな飛躍・向上の年といわれています。厳しいコロナ禍を今年も我慢し、春の訪れとともに利用者さん一人ひとりが生き生きと施設を利用し、自己の目標を超えられるよう飛躍し、コロナの日々を飛び跳ね、就労活動と楽しく過ごしていただける活動を支援していきたいと思っています。各班の売り上げ額の向上と個別送迎の範囲の拡大と、利用者さんの工賃向上が最重要課題です。この課題解決に向け職員一丸となって取り組んでまいります。

新しい年を迎え、利用者さんをはじめ、保護者の皆さんや施設職員の皆さん、地域の皆さんとのコミュニケーションを大事にし、多くの方がたから親しまれるほどはら授産所にしていくことをお誓いします。

結びに、令和5年が皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 伊達市役所で授産品販売！



密を避けるため、4週間にわたって12月22日まで参加事業所が分散して出店。12月1日は初回で、当所のほかに、梁川町のスズラン工房さんが出店しました。

12月1日、伊達市役所本庁舎1階ロビーで、伊達市自立支援協議会就労支援部会主催による「障がい福祉事業所販売会（初日）」が開かれ、ほどはら授産所も出店し、刺し子布巾とトイレトーパー、越冬できるパンジー、ビオラ、つりがねそうの花苗を販売しました。販売活動は市役所職員のお昼休みの時間に行われ、当所のコーナーにも多くの職員が訪れ、品物をお買い求めいただきました。ご協力に感謝申し上げます。

# 空調工事完了 引き渡し式行う！



齋藤電建(株)の首原さんから報告書類を受け取る吉田理事長(写真右)

12月1日、ほどはら授産所空調工事完了に伴う工事完了引き渡し式をほどはら授産所で行いました。

当日は、工事業者である齋藤電建株式会社代表取締役社長齋藤和夫氏の代理 菅原重樹氏が関係書類を持参し、工事完了の報告を吉田理事長に行い、関係書類を手渡しました。

空調機器の老朽化により、作業室、特に手工芸室の暖冷房装置が著しく老朽化していたので、今後快適に作業ができるよ

うになるものと思われます。この工事は、環境省令和3年度補正予算省エネルギー投資促進支援事業費補助金の交付を受けて行いました。



# クリスマスと12月・1月誕生者を祝う

12月23日、「ほどはら授産所クリスマス会」と「12月・1月誕生者を祝う誕生会」を開きました。

佐藤静香さんの開会のことばに始まり、中木所長があいさつ、クリスマスの由来やサンタクロースのプレゼントのお話がありました。そのあとみんなでクリスマスソングを歌い、サンタクロースの登場を待ちました。今年も、昨年に引き続き特別二人のサンタさんが会場に現れ、大盛り上がりになりました。二人のサンタさんから利用者さんにクリスマスプレゼントが配られました。

続いて、誕生会のセレモニーが行われ、12月と1月生まれの方がたが前に整列、中木所長からお祝いの言葉があり、みんなでハッピーバースデーを歌ってお祝いしました。所長からバースデーカードのコースターがプレゼントされ、誕生者へのインタビューでは「お仕事頑張ります」と力強い言葉が聞かれました。

そして佐藤利彦さんがクリスマスと誕生者を祝って乾杯の発声を行い、みんなでジュースとケーキをいただきました。

12月生まれ 氏家絃希さん 本田真由美さん 永井勇基さん      1月生まれ 佐藤修二さん  
みなさん、おめでとうございます。



会場にサンタさん登場



サンタさんからプレゼントを受け取る利用者さん



クリスマスソングを歌う利用者さん



サンタさんからプレゼントを受け取る利用者さん





12月、1月生まれの皆さん



中木所長から記念品を受け取る利用者さん（写真中央）



今年も利彦さんが乾杯の発声！



コースターを受け取った誕生者の皆さん



サンタさん来年も来てねー！





# ロビー図書コーナーが充実しました



お昼休みに読書をする利用者さんたち

ほどはら授産所のロビー図書コーナーについては、以前から知らせしていますが、このほど伊達市立図書館から古雑誌交換会の雑誌や、旧石田小学校に蔵書されていた雑誌などが届き、コーナーの蔵書が増えました。定期的なだて文庫の更新のほか、本が増え利用者さんたちの休憩時間やお昼休みに本に親しんでいます。

ご家庭に眠っている書籍・雑誌等ありましたら、当コーナー蔵書に加えますので、どうぞ当所にご持参ください。

あぶくま福祉会  
だより  
令和5年1月号

## 理事会であぶくま福祉会定款変更 などを審議 評議員会は書面会議に



議案の審議をする理事・監事の皆様

12月8日、本年第3回理事会をほどはら授産所食堂・休憩室で行いました。吉田理事長のあいさつのもと議事に入り、はじめに報告案件として、令和4年度社会福祉充実残額執行状況と事業終了報告と、理事長及び業務執行理事の職務執行状況の2件を審議。議案については、法人定款の一部改正で、ほどはら授産所旧倉庫解体と新設車庫・倉庫の取得による財産条項の一部を改正する議案で、原案どおり可決されました。

席上審議前に、当法人理事八幡嘉亮

氏が長年の福祉活動の功績が認められ、県社協の「瓜生岩子賞」を受賞されたことを祝って、出席者一同拍手でお祝いをしました。

なお、法人評議員会については日程の議決を得ましたが、新型コロナウイルス感染第8波流行期の最中であり書面評決会議とすることが承認されました。

**編集後記** 明けましておめでとうございます。ほどはら通信1月号、今年も1ページ目は年賀状風にしてみました。イラストは、ほどはら授産所の岩崎真由美さんに描いていただきました。ありがとうございました。▼理事長、保護者会長さんには、年頭のごあいさつをいただきました。御礼申し上げます。利用者さんの就労へのモチベーションの維持向上を図りながら、施設に来て満足感が得られるよう努めていきたいと思っております。▼新型コロナウイルス感染症は第8波の流行期の中にあり感染者数が増えています。先月21日に第5回目の施設巡回ワクチン接種を行いました。安心はできませんので、皆さんには引き続き感染予防の手洗いうがい・マスク着用・三密回避で、身を守るようにしてください。▼真冬の季節になりました。お体ご自愛のうえ、いいお正月をお過ごしください。今年もどうぞよろしくお祈りします。(M)